

「ひろしま里山グッドアワード」の結果報告について

1 要旨・目的

中山間地域にあるものを生かした好事例を表彰することによって、地域活動に対するモチベーションの維持を図るとともに、地域づくりの身近なモデルが新たな人材の活動を生み出す好循環へと繋げるために平成30年度から実施している。

令和5年度は「さとやま未来大賞」1件、「未来のたね賞」1件及び「入賞」3件を、一般投票により決定し、令和5年12月9日（土）の表彰式において、知事から表彰した。

2 現状・背景

中山間地域の振興については、中山間地域振興計画に基づき、全ての活力の源泉となる「人づくり」に重点的に取り組んでいる。

その一環として、県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かした取組の好事例を可視化することによって、様々な主体が地域づくり活動に取り組む機運醸成を図っていく必要がある。

3 概要

(1) 対象

個人、地域住民組織又は企業等が行う、県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かして、新しい価値やサービスの創出につなげている取組

(2) 事業内容（実施内容）

次の選考過程を経て、「さとやま未来大賞」、「未来のたね賞」及び「入賞」を決定した。

賞の種類	さとやま未来大賞（1件）、未来のたね賞（1件）、入賞（3件） ※ 大賞の副賞として、活動の紹介映像を制作
応募期間	令和5年6月5日（月）～8月4日（金）
応募方法	専用ホームページの応募フォームによる
一次審査	9月下旬にアドバイザーの意見を参考に、5件を選定
一般投票	令和5年10月2日（月）～11月30日（木） ※ 投票はインターネットによる。投票数は6,102票。
アドバイザー	藻谷 浩介氏 （株式会社 日本総合研究所 主席研究員） 新里 カオリ氏 （立花テキスタイル研究所 代表） 新條 隼人氏 （株式会社 ドットライフ 代表取締役）
表彰式	令和5年12月9日（土） 安芸高田市民文化センターで実施

【さとやま未来大賞】

島から始まる国際音楽祭～生口島魅力再発見プロジェクト

(実施主体：一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギア) (主な活動地域：尾道市瀬戸田町)

<概要>

生口島のベル・カントホールを主会場に、国内外で活躍するミュージシャンと地元の小学生、全国の高校生までの「音楽家の卵」、尾道ゆかりの演劇家・書道家・舞踊家らのコラボレーションによる音楽祭を開催するとともに、ホール前でマルシェを実施することにより、生口島における文化活動の促進を目指す取組。



【未来のたね賞】

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]
<u>やぎさんと「いのちのおはなし」出張ふれあい事業</u> 休耕田を活用して飼育しているヤギを連れて、地域の保育園・幼稚園・小学校へ訪問し、子ども達に「いのち」を実感してもらうことにより、豊かな心の育成につなげるとともに、牧場への訪問者の増加による関係人口作りを目指す取組。	さいさい来ん彩 女子畠 [呉市安浦町]

【入賞】

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]
<u>ありのままの自然を遊び尽くす！里山で活躍する仲間を増やすプロジェクト</u> 猪の解体やレストラン営業、ガイド付きの山歩きなどを通じて自然や獣害に対する来場者の意識の変化を引き起こすとともに、地域全体で獣害対策に取り組みながら、獣害被害0の地域を目指す取組。	生口島ごちそう の森 [尾道市瀬戸田 町]
<u>ご当地キャンプブランドで神石高原町を変える</u> 地元産品を活用したキャンプ向け商品を製造し、販売の際、神石高原町の観光情報や移住に必要な情報を提供するとともに、古民家を活用した田舎体験施設の整備により、田舎暮らしを体験してもらうなど関係人口や移住者の増加を目指す取組。	JINSEKI BASE [神石高原町]
<u>島の中と外を繋ぐ空き家”HUB SPOT”計画</u> 空き家を活用して、釣りや SUP、まつげサロンなど地元の様々な事業者の入った複合施設を運営するとともに、DIY イベントやアクティビティを実施することにより、江田島市への観光客の増加、空き家活用の普及を目指す取組。	KIRIKUSHI COASTAL VILLAGE [江田島市]

(3) スケジュール

「さとやま未来大賞」、「未来のたね賞」、「入賞」に決定した取組について、活動内容をまとめた冊子を年度内に制作する。

制作した冊子は、受賞団体や県内市町等に配布し、他の地域づくり活動の参考となるよう取組の広報に活用する。

(4) 予算（単県）

5,068 千円

(5) その他（関連情報等）

ひろしま里山グッドアワード 特設サイト

<https://good-award.jp>

